

平成30年度共同研究「機械加工技能検定1級取得者の技能向上に対する支援の為の教材開発」第二四半期 活動報告！！

平成30年4月から生産技術科 黒木 猛教授を中心に、平成30年度共同研究「機械加工技能検定1級取得者の技能向上に対する支援の為の教材開発」を開始しました。九州職業能力開発大学校では、福岡県を中心とした企業様と装置開発や人材育成に関する様々な共同研究を実施しています。その一環として北九州市在住の企業様と人材育成を目的とした教材開発をしています。

今回の共同研究の主な目的は以下の4点です。

- ① 教材開発能力の習得。
- ② 人材育成能力の習得。
- ③ 7項目の現場管理能力の習得。
「工程管理」「作業管理」「品質管理」「原価管理」「安全衛生管理」「作業指導」「設備管理」
- ④ 国家試験技能検定機械加工特級の取得。

この第二四半期では目標の一つである「人材育成能力の習得」を目指して、取組みの中で開発した教材を用いて、グループ内での講義を繰り返し特に企業側から参加したメンバーに効果的な講義の運営方法を学んでいただきました。具体的には、6名の九州能開大職員の講義を聴講した後、ご自身の講義の参考にしていただき、「教材開発能力」「人材育成能力」を高めていただきました。また、共同研究の企業側の社長様から「共同研究に対する期待」「九州能開大への期待」「従業員に対する激励」のお言葉もいただきました。(文責 八崎)

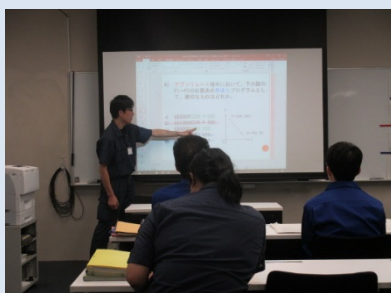
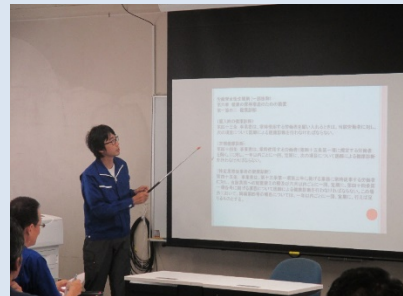
共同研究の名称：機械加工技能検定1級取得者の技能向上に対する支援の為の教材開発
共同研究の期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日
共同研究のメンバー：小島勝己、柴崎悠太、大庭英利、黒木猛、斉藤哲也、楠元智久、寺本裕子、小高勝、八崎透



企業側社長による講演



企業側参加者による講義の実施風景



九州能開大職員による講義の実施風景